

岡山県道徳教育郷土資料集
(中学校)
授業パッケージ

岡山県教育委員会

令和6年3月

まえがき

「特別の教科 道徳」では、一人一人の生徒が、答えが一つでない課題に道徳的に向き合う「考え、議論する道徳」へと質的に転換し、道徳教育の充実・強化を図ることが求められています。

県教育委員会では、平成七年度及び平成十二年度に郷土岡山について深く理解し、郷土を愛する心豊かな生徒を育成するため、道徳教育用郷土資料集を刊行いたしました。

このたび、この資料集をより一層活用していただくため、内容や構成について見直し、改訂版として「岡山県道徳教育郷土資料集（中学校）授業パッケージ」を作成いたしました。道徳教育の特性に鑑みれば、地域の特徴を生かせる地域教材は、生徒にとって特に身近なものに感じられ、教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができると考えております。

各学校においては、この授業パッケージの目的を十分に理解して大いに活用され、指導方法の一層の工夫改善を進め、道徳科の目標を実現されるよう期待します。

終わりに、本資料の作成に当たり御協力いただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

令和六年三月

岡山県教育庁義務教育課

授業パッケージの構成と利用の仕方

一 本書の構成について

1 本書は、第1部の「教材」と第2部の「指導案」で構成した。教材は前から、指導案は後ろから開いて利用できるようにした。

2 「教材」は、岡山県にゆかりのある先人の伝記や逸話などを取り上げている。

3 「指導案」には、教材を活用する際、参考となる本時案や板書例、他教科等との関連を掲載している。

二 本書の利用について

1 教材は、指導する時期や生徒の実態等を考慮して適宜工夫を加え、柔軟で多様な活用を図ることが大切である。

2 指導案は、例として示したものである。活用に当たっては、地域社会や生徒の実態等を十分考慮して、創意工夫していただきたい。

3 本書は、学校内で授業に使用する場合、複製して差し支えない。

4 本書の教材、指導案は、県教育庁義務教育課ホームページに掲載収録されているので、ダウンロードして活用することが可能である。

目次

はじめに

授業パッケージの構成と利用の仕方

第1部
(教材)
第2部
(指導案)

真の友とともに | 大原孫三郎 | 4 | 指1

土を味わう男 | 金重 陶陽 | 8 | 指5

岐路に立つ | 山室 軍平 | 12 | 指9

社会福祉の先覚者 | 留岡 幸助 | 16 | 指13

荒波を乗り越えて | 吉備 真備 | 20 | 指17

わが兵法のままに | 宮本 武蔵 | 24 | 指20

話せばわかる | 犬養 木堂 | 28 | 指23

作成委員